

社団法人 日本国書館協会 図書館学教育部会

会報 第33号

平成4年10月17日発行 編集・発行 図書館学教育部会

平成4年度図書館学教育部会総会記録

日 時：平成4年5月27日（水）15時～17時

場 所：日本図書館協会4階会議室

出席者：中村初雄、長倉美恵子、高橋和子、滝中和夫、今まど子、渋谷嘉彦、宮内美智子、岡田靖、朝比奈大作（順不同、以上9名）

委任状提出者 41名（部会員総数：235名）

I 会の構成

1. 議長指名：議長 中村初雄
2. 議事録署名人氏名：長倉美恵子、高橋和子

II 議事

1. 平成3年度事業報告

総会資料（P.10～11）に基づき今部会長より報告。（緊急研究集会の報告は教育部会報32号に掲載されており、第77回全国図書館大会の記録は現在印刷中である。）

2. 平成3年度決算報告及び会計監査報告

宮内、渋谷両会計担当幹事より報告（会計監査役は前島重方、芦谷清両氏）。緊急研究集会参加費が予定を上回ったため雑収入が増え、会報33号の印刷を繰り延べたため、拡大幹事会開催のための交通費支出の増にもかかわらず、繰越金が増加しているが、これは平成3年度の特殊事情である旨報告された。

1. 2両議案を審議、承認

3. 平成4年度事業計画

ア. 第22回図書館学教育研究集会

日 時：5月9日（土）14:00～16:00

場 所：慶應義塾大学三田情報セン

ター・AVホール

テーマ：21世紀へ向けての図書館情報学教育への展望

講 師：マイケル・K. バックランド
この集会は三田図書館情報学会と共に催され、80名の参加を得て既に実施済であり、本総会においては事後承認を求める形となつた。集会の記録は会報に印刷・公表の予定である旨部会長より報告された。

イ. 全国図書館大会（愛知県）第11分科会

日 時：11月18日（水）9:30～16:00

場 所：産業貿易館西館

テーマ：図書館学の発展と再構築

渡辺幹事並びに木原通夫氏（帽山女子大学短大部）に運営委員会を委嘱し、津田良成氏（愛知淑徳大学）及び木原通夫氏を発表者として開催準備が進められている。また、同一会場を利用者教育臨時委員会と共に用し、午前中は前記委員会が、午後は教育部会が主催する予定であると部会長より説明がなされた。

ウ. 会報発行年3回（第33、34、35号）は役員選挙用

エ. 日本国書館協会100周年記念事業への参加－継続

100周年記念事業委員会への部会推薦

日本図書館協会

99

資料室

委員浜田敏郎氏は現在同委員会委員長である。また100年史編集委員会への推薦委員中村初雄氏より、同委員会の編集進捗状況につき報告があった。

オ. 図書館学教育改善への取組み－継続

現在のところ文部省の方では省令科目改定についての目立った動きはないが、7月以降専門委員会での作業が本格化するかも知れないので、何らかの進展があれば、拡大幹事会の開催、緊急集会の開催など適宜の取組みを進める旨、部会長より説明された。

カ. 部会役員選出規定の見直し

現行規定は当選者の辞退が認められないなど若干の不備があるので、規定の一部につき見直し作業を行う可能性があると部会長より説明された。

キ. 部会役員改選

4. 平成4年度予算

平成4年度予算案

収入の部

費目	予算	備考
会費	432,000	$2,000 \times 240 \times 0.9$
交付金	180,000	
雑収入	4,000	預金利子、刊行物売上代等
繰越金	291,314	
合計	907,314	

支出の部

費目	予算	備考
事務用品費	5,000	
手数料	13,000	郵便振替手数料等
会議費	100,000	幹事会および省令科目改訂のため 拡大幹事会等
通信費	60,000	
交通費	350,000	幹事会および省令科目改訂のため 拡大幹事会等
人件費	30,000	会報編集等のアルバイト賃金
会報等印刷	180,000	第33・34・35号
研究集会等費	60,000	図書館大会・夏期研究集会等
選挙管理費	70,000	
予備費	39,314	
合計	907,314	

渋谷幹事より予算総額907,314円の費目別予算案についての説明があり、併せて予算が逼迫している由の報告があった。この点につき、収入の見込める研究集会開催、会報特別号の有料配布等の“事業”を行ってみてはどうか、などの発言があった。

以上、議題3、4を承認

5. 文部省司書講習科目見直し案について
前述の如く、今の所具体的な動きはなく、幹事会で情報収集、情報交換を進めていくこと、具体的な動きがあれば適宜対応することが話し合わせられた。

6. その他

司書資格賦与のための検定試験制度を検討してみてはどうかとの話題提供があり、過去の例等につき発言されたが、具体的な検討は見送られた。

以上

書記：朝比奈大作

議事録署名人：長倉美恵子、高橋和子

第22回図書館学教育研究集会記録

第22回研究集会は三田図書館情報学会と合同で下記の要領で行われ、多数の出席があり盛会であった。

尚、講演の詳しい内容については会報34号に特集号として掲載予定である。

記

日 時：平成4年5月9日(土)14:00-16:00

場 所：慶應義塾大学三田情報センター
地下AVホール

講 師：マイケル K. バックランド氏
(カリフォルニア大学バークレー校教授)

テーマ：21世紀における図書館・情報学教育のあり方

講演の要旨

1. 図書館サービスの長期的变化について
図書館技術
図書館学（図書館・情報学）
図書館の価値
2. 図書館技術が変化することの結果とし

- て図書館サービスをどのように再考するか
- (a) 書誌的アクセス：書誌と目録
 - (b) コレクションとしての図書館の情報資源：電子出版物へのアクセス

3. 図書館とその他の情報サービスや情報システムとの融合：

図書館サービスや図書館員はますます孤立化の傾向が無くなり、図書館学（図書館・情報学）も他の学問分野から阻害されている状況がなくなる。

4. これからなすべきことは何か

- (a) 情報源へのアクセスがオンライン化する傾向に対する対策

- (b) 図書館サービスの目的を常に考え、図書館サービスのその目的に合わせ再構築するための諸原則に常に立ち帰る必要性。

このためにはより一層の理論が必要になる。

(c) (a) と (b) に加えて、よりよい図書館サービスのために、より一層の機会を——図書館サービスの再構築

- ① 書誌と目録との関係の変化
- ② 電子媒体により利用できる資料の増大そのための図書館のインフラの整備
紙媒体による資料の持つ重要性の相対的低下
- ③ 図書館利用者の作業環境がますますコンピュータ化することに応じた図書館サービスの開発

平成3年度図書館学教育部会幹事会記録

第6回

日 時：平成3年11月19日(火)16:50-20:30

場 所：青山学院大学第15会議室

出席者：今、朝比奈、古賀、渋谷、高山、宮内、渡辺、岡田

- 議 題：1. 図書館大会の総括並びに要望書について
2. 外部との話し合いの場を持つ事について

3. その他

第7回 (第1回拡大幹事会)

日 時：平成3年12月14日(土)13:25-16:00

場 所：青山学院大学第11会議室

出席者：岩猿、桜井、今、朝比奈、古賀、渋谷、高山、宮内、渡辺

議 題：第1回の拡大幹事会なので、部会長より主旨説明があり、その後に渋谷案を中心にフリー・ディスカッションが行われた。又、いくつかの報告事項があった。

第8回 (第2回拡大幹事会)

日 時：平成4年1月19日(日)13:15-17:10

場 所：中央大学駿河台記念館

出席者：岩猿、柴田、今、朝比奈、古賀、渋谷、高山、宮内、渡辺、岡田

議 題：1月13日(月)に行われた外部との懇談会について、部会長並びに古賀幹事より報告が有り、それについてのフリー・ディスカッションを行った。

第9回 (第3回拡大幹事会)

日 時：平成4年2月23日(日)13:00-16:45

場 所：中央大学駿河台記念館

出席者：岩猿、柴田、細野、今、朝比奈、古賀、渋谷、渡辺

議 題：1. 柴田案(第7回配布資料)について
2. 渋谷提案についての問題点の指摘

第10回

日 時：平成4年3月31日(火)14:20-17:00

場 所：JLA4階会議室

出席者：今、朝比奈、古賀、渋谷、高山、岡田

議 題：1. 総会資料の作成
2. 定期総会プログラム(案)作成

平成4年度図書館学教育部会幹事会記録

第1回

日 時：平成4年4月25日(土)14:00-18:00

場 所：青山学院大学会議室

出席者：今、古賀、渋谷、宮内、渡辺、岡田

議 題：1. 第22回図書館学教育研究集会の件
2. 平成4年度定期総会の準備の件

3. 全国図書館大会の件
4. 省令科目の件
5. 役員選挙規約改定の件

第2回

日 時：平成4年6月16日(火)18:00-20:30

場 所：JLA4階会議室

出席者：今、渋谷、宮内、岡田

議 題：1.外部との懇談会について

第3回

日 時：平成4年8月20日(木)10:30-12:00

場 所：慶應大学文学部会議室

出席者：朝比奈、古賀、渋谷、高山、宮内、渡辺

議 題：1. 「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」及び「今後の教職員配置の在り方について（中間まとめ）」に関する教育部会の対応と協会懇談会への出席について

2. 図書館大会案内について
3. 今部会長へのお見舞い並びに連絡について
4. 次回幹事会について

第4回

日 時：平成4年9月17日(木)18:25-20:30

場 所：JLA4階会議室

出席者：朝比奈、古賀、渋谷、高山、宮内、渡辺

議 題：1. 選挙管理委員会委員長依頼の件
2. 協会との懇談会の報告
3. 次回幹事会について

懇談会の開催

日本図書館協会事務局長主催で、7月30日付朝日新聞をはじめとして、各新聞で報道された生涯学習審議会の答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」に関連して、司書資格取得方法について従来とは異なった考

え方が示されたことについて、懇談会が、8月26日午後3時から6時まで、都立中央図書館で開催された。出席者は、理事1名、公共図書館関係者2名、国立国会図書館関係者1名、学校図書館関係者3名、教育部会関係者2名、栗原事務局長と酒川常務理事の11名であった。

始めに、あの新聞記事の後、事務局長と酒川氏が文部省の学習情報課に出向き尋ねたところ、記事は生涯学習振興課の取り扱いであったこと、生涯学習の一環として、現在とは異なった資格取得の方法が考えられないかということ、法改正は考えていない、などの趣旨の回答があったことが事務局から報告され、その後、出席者から種々の意見が述べられた。その主なものは、現行の図書館法に規定されていることを、まず実現すること、資格試験にするなら高度な資質を問うものにすること、資格試験だけでは図書館員として必要な教養や語学力ははかれないと、協会の中に全館種を含む委員会をもうけて問題に対処してほしいなど、さまざまな意見がだされた。

以上、懇談会の趣旨をふまえて、9月の常務理事会での議題として、此の問題に関しては、今後とも注意し取組んでいきたいという、事務局長のまとめで締め括られた。

文責 古賀、渋谷

編集後記

種々の理由で33号の発行が遅れた事を部会員の皆様にお詫びいたします。

今回は間がだいぶ空いたため盛りだくさんな内容になりました。そのため研究集会の内容が詳しく掲載できません。次号を特集号として、講演内容の全文の翻訳を掲載する予定ですので御期待下さい。 岡田 靖